

<平成24年3月期第3四半期決算参考資料>(連結)

	前第3四半期累計実績 平成23年3月期 (A)	当第3四半期累計実績 平成24年3月期 (B)	通期予想 平成24年3月期 (C)	前回(平成23年10月)予想 平成24年3月期 (D)	前期実績 平成23年3月期 (E)
売上高	13,109 億円	12,931 億円	18,200 億円	18,200 億円	18,285 億円
営業利益	130 億円	385 億円	500 億円	500 億円	403 億円
<利益率>	< 1.0% >	< 3.0% >	< 2.7% >	< 2.7% >	< 2.2% >
		(増益要因) 台数・車種構成等 206億円 資材費等コスト低減 166億円 販売費用 49億円 (減益要因) 為替 ▲58億円 その他 ▲108億円 対前年同期 変動計(B-A) 255億円	(増益要因) 台数・車種構成等 210億円 資材費等コスト低減 270億円 (減益要因) 為替 ▲160億円 その他 ▲223億円 対前期 変動計(C-E) 97億円	(増益要因) 台数・車種構成等 210億円 資材費等コスト低減 260億円 (減益要因) 為替 ▲180億円 その他 ▲193億円 対前期 変動計(D-E) 97億円	
経常利益	114 億円	289 億円	400 億円	400 億円	389 億円
<利益率>	< 0.9% >	< 2.2% >	< 2.2% >	< 2.2% >	< 2.1% >
四半期(当期)純利益	▲22 億円	136 億円	200 億円	200 億円	156 億円
<利益率>	<->	< 1.1% >	< 1.1% >	< 1.1% >	< 0.9% >
為替 (売上レート)	87 円/US\$ 113 円/ユーロ	79 円/US\$ 113 円/ユーロ	78 円/US\$程度 110 円/ユーロ程度 (第4四半期: 76円/US\$程度) (第4四半期: 98円/ユーロ程度)	78 円/US\$程度 110 円/ユーロ程度 (下期: 76円/US\$程度) (下期: 103円/ユーロ程度)	85 円/US\$ 113 円/ユーロ
設備投資 (計上ベース)	282 億円	429 億円	990 億円	990 億円	525 億円
減価償却費	470 億円	402 億円	670 億円	670 億円	627 億円
研究開発費	363 億円	395 億円	630 億円	630 億円	494 億円
有利子負債残高	3,686 億円	3,620 億円			3,979 億円
総資産	12,591 億円	12,481 億円			13,125 億円
売上台数*	<small>旧カウント</small> 746 784 千台	769 千台	1,080 千台	1,094 千台	<small>旧カウント</small> 1,045 1,098 千台
国内	<small>119</small> 144 千台	132 千台	188 千台	192 千台	<small>166</small> 199 千台
海外	<small>627</small> 640 千台	637 千台	892 千台	902 千台	<small>879</small> 899 千台
生産台数	867 千台	822 千台			1,186 千台
国内	492 千台	432 千台			663 千台
海外	375 千台	390 千台			523 千台
業績評価		・減収・増益 ・第3四半期(累計)としては平成20年3月期以来(4期ぶり)の営業利益、経常利益、当期純利益ともに黒字計上。	減収・増益	減収・増益	

*平成24年3月期より新カウントを採用し、新カウントの売上台数にはOEM供給台数を含む。

三菱自動車、2011年度第3四半期決算及び通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2011年度（2012年3月期）第3四半期決算及び2011年度通期の業績見通しを発表しました。

1. 業績概況

2011年度第3四半期累計期間（2011年4月1日～12月31日）の売上高は、タイでの洪水発生に伴う車両生産活動の一時休止や、円高の一段の進行などの影響を受け、前年同期比178億円（1%）減の12,931億円となりました。

営業利益については、売上高の減少はあったものの、車種構成等の改善や、資材費等コスト低減などが寄与し、前年同期比255億円（196%）増の385億円となりました。

経常利益は前年同期比175億円（154%）増の289億円、また当期利益については対前年同期で158億円の改善となる136億円となりました。

2. 販売台数

2011年度第3四半期累計期間の販売台数は、前年同期比34千台（5%）増の755千台となりました。

日本では、アイドリングストップ機能等の燃費改善技術搭載モデルを新たに投入したことなどから第3四半期の販売台数が対前年同期でプラスとなったものの、第3四半期累計期間では前年同期比16千台（13%）減の103千台となりました。

北米は、『アウトランダースポーツ』（日本名：『RVR』）の好調などにより米国の販売が大きく増加したことで、前年同期比16千台（24%）増の82千台となりました。

欧州は、景気の先行き不透明感の高まりから需要の減速が見られ西欧地域における販売は前年並みに止まったものの、市場の回復が続くロシアで大きく販売を伸ばし、地域全体としては前年同期比16千台（10%）増の174千台となりました。

アジア及びその他の地域については、タイやインドネシア等のアセアン地域やブラジルをはじめとする中南米地域等の好調に支えられ、前年同期比18千台（5%）増の396千台となりました。

3. 2011年度業績見通し

2011年度通期の販売台数計画について、第3四半期までの実績に、足下の市場動向の変化を織り込み見直しを行った結果、2011年10月28日（前回）公表計画値に対し19千台減となる1,013千台に修正しました。

なお、2011年度通期業績見通しについては、第3四半期までの実績を踏まえ、新たな台数計画をもとに、想定される変動要因を勘案した結果、前回公表計画値（売上高：18,200億円、営業利益：500億円、経常利益：400億円、当期利益：200億円）を据え置くこととしました。

以上

【お問い合わせ先】

広報部 企業広報担当：地引、村田

企業広報代表 03-6852-4274

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

2011年度第3四半期業績の概況

MIRAGE



“世界戦略車”『MIRAGE (ミラーージュ)』

三菱自動車工業株式会社

2012年2月2日

2011年度第3四半期 業績サマリー【9ヶ月累計、前年同期対比】

円高進行・タイ洪水影響など厳しい事業環境ながら増益

(単位: 億円、千台)

	FY10 3Q ('10/4-12) 実績①	FY11 3Q ('11/4-12) 実績②	差 ② - ①	【ご参考】 10/28公表 FY11見通し
売上高	13,109	12,931	-178	18,200
営業利益	130	385	+255	500
経常利益	114	289	+175	400
当期利益	-22	136	+158	200
販売台数(小売)	721	755	+34	1,032
販売台数(卸売)	784	769	-15	1,094

※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度第3四半期販売台数実績は速報値。

2011年度第3四半期 業績サマリー 【四半期推移】

(単位: 億円、千台)

	FY11 1Q ('11/ 4-6)	FY11 2Q ('11/ 7-9)	FY11 3Q ('11/10-12)	FY11 3Q 累 計 ('11/ 4-12) (進捗率)	【ご参考】 10/28公表 FY11見通し
売 上 高	4,319	4,756	3,856	12,931 (71%)	18,200
営 業 利 益	122	220	43	385 (77%)	500
経 常 利 益	103	130	56	289 (72%)	400
当 期 利 益	43	63	30	136 (68%)	200
販売台数 (小売)	267	252	236	755 (73%)	1,032
販売台数 (卸売)	252	278	239	769 (70%)	1,094
為替レート	実績	実績	計画	実績	計画
米ドル	82	79	76	78	78
ユーロ	118	113	103	106	110
豪ドル	88	84	78	79	82

※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用。(添付資料ご参照) 11年度第3四半期販売台数実績は速報値。

約1ヶ月の操業停止の後11月中旬から操業再開し、挽回生産中

- ◇ タイMMTh社は、主力商品「トライトン」などを生産・販売する重要な拠点
- ◇ 工場はバンコクの南東に位置し、工場設備に直接的な被害はない
- ◇ 洪水による一部部品供給停止により2011年10月中旬から操業を停止
- ◇ 操業再開は11月14日 2直ほぼフル生産で立ち上げ、4Qでの挽回を図る

操業停止期間(約1ヶ月)の減産台数: 23千台

年度末までの挽回生産(増産)目標台数: 15千台

⇒ 年度での減産影響: 8千台への挽回を目標に全力で取り組み中

※MMTh社:Mitsubishi Motors (Thailand) Co, Ltd. (三菱自動車100%出資の生産・販売会社)

LAEMCHABANG工場 所在地:バンコクの南東、チョンブリ県 生産実績: 20万台(2010年度)

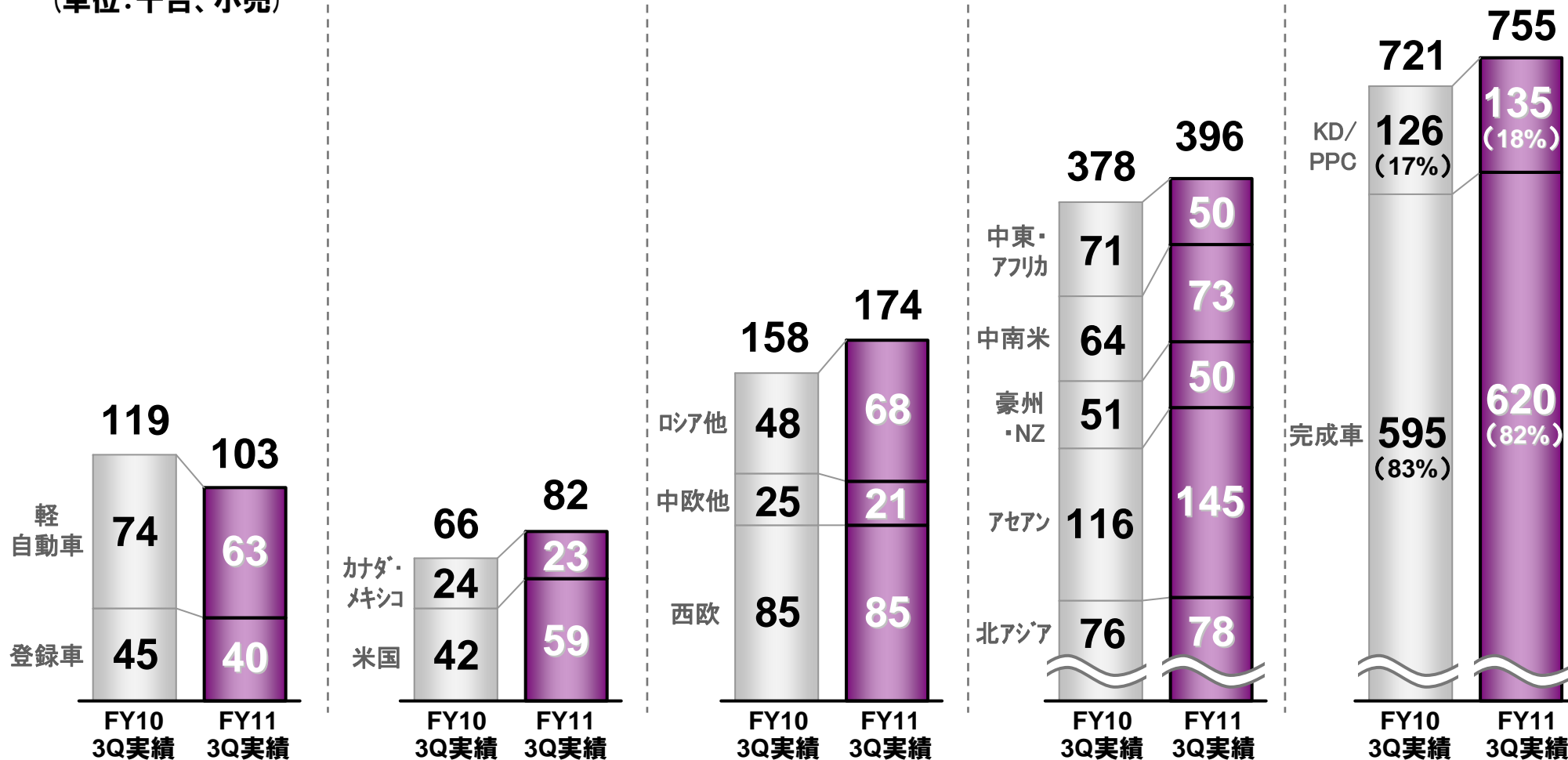
本 社

所在地:バンコクの北、パトゥムタニ県

2011年度第3四半期 地域別販売台数実績【9ヶ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期対比増減》				
- 16 (- 13%)	+ 16 (+ 24%)	+ 16 (+ 10%)	+ 18 (+ 5%)	+ 34 (+ 5%)

(単位:千台、小売)



※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度第3四半期販売台数実績は速報値。

営業利益増減分析【9ヶ月累計、前年同期対比】

(単位: 億円)

FY10 3Q
('10/ 4-12)
実績



FY11 3Q
('11/ 4-12)
実績

地域別

日本:	- 33
北米:	+ 20
欧州:	+158
アジア	
その他:	+61



台数・車種
構成等



売上レート(単位:円)

	FY10	FY11
米ドル	87	79
ユーロ	113	113
豪ドル	80	84



その他の主な内訳

・開発費	- 32
・間接員労務費他	- 76



經常利益・当期利益【9ヵ月累計、前年同期対比】

(単位：億円)

	FY10 3Q ('10/ 4-12) 実績①	FY11 3Q ('11/ 4-12) 実績②	差 ② - ①
営業利益	130	385	+255
営業外損益	- 16	- 96	- 80
經常利益	114	289	+175
特別損益 及び法人税等	- 136	- 153	- 17
当期利益	- 22	136	+158

貸借対照表【前年度末対比】

(単位: 億円)

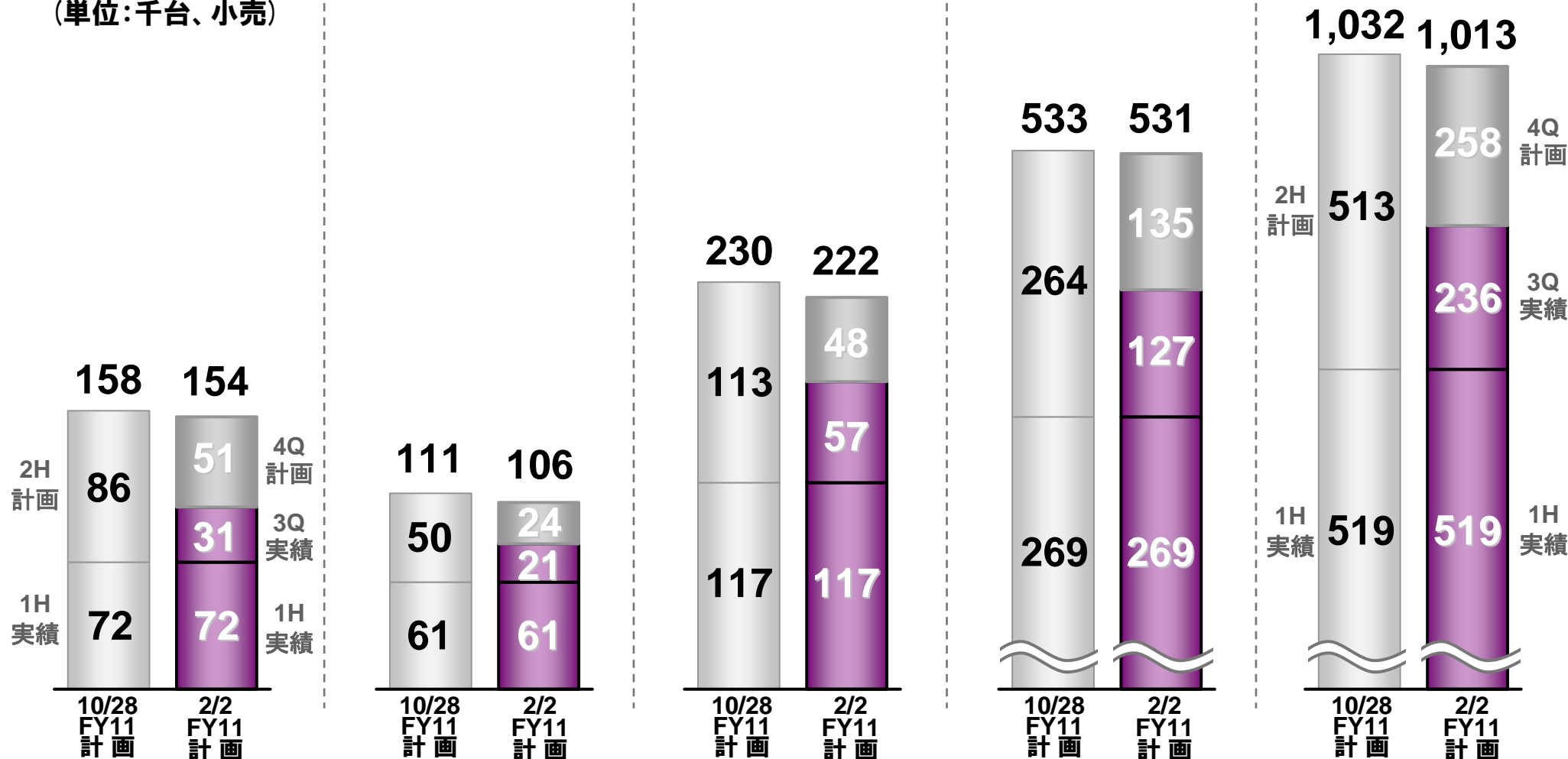
	FY10末 ('11/ 3月末)	FY11 3Q末 ('11/ 12月末)	増 減
資 産 合 計	13,125	12,481	- 644
うち 現金預金	3,171	2,773	- 398
売上債権	1,144	969	- 175
たな卸資産	1,893	2,080	+ 187
有形固定資産	3,836	3,710	- 126
負 債 合 計	10,644	10,148	- 496
うち 仕入債務	2,786	2,807	+ 21
有利子負債	3,979	3,620	- 359
純資産合計	2,481	2,333	- 148

2011年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【10/28公表値対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《10/28公表値対比増減》				
- 4 (- 3%)	- 5 (- 4%)	- 8 (- 3%)	- 2 (-)	- 19 (- 2%)

(単位:千台、小売)



※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用。(添付資料ご参照) 11年度第3四半期販売台数実績は速報値。

2011年度通期見通し 業績サマリー【前回見通し(10/28公表)対比】

引き続き期初目標の営業利益500億円の達成を目指す

(単位：億円、千台)

	FY11 6/ 13公表値	FY11 10/ 28公表値	FY11 2/ 2公表値	【ご参考】 FY10 実績			
売上高	19,500	18,200	18,200	18,285			
営業利益	500	500	500	403			
経常利益	400	400	400	389			
当期利益	200	200	200	156			
販売台数 (小売)	1,075	1,032	1,013	987			
販売台数 (卸売)	1,173	1,094	1,080	1,098			
為替前提レート	通期	上期	下期	通期	4Q	通期	
米ドル	80	80	76	78	76	78	
ユーロ	113	116	103	110	98	110	
豪ドル	83	86	78	82	78	82	

増減内訳 (10/28公表値対比)	
・コスト低減	+10
・為替	+20
・部品用品他	- 30

※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照)

■ 2011年度第3四半期累計実績

円高進行・タイ洪水影響など厳しい事業環境ながら増益

- 販売台数(小売) 755千台 前年同期比 5%増加 (アセアン、欧州、北米等の増加が寄与)
- 販売台数(卸売) 769千台 前年同期比 2%減少 (アセアン等で増加も、中東アフリカ、国内で減少)
- 売上高 12,931億円 前年同期比 1%減収 (タイ洪水による操業停止影響)
- 損益 営業利益 385億円 前年同期比 約3倍 255億円増加
(円高影響などを台数・車種構成等改善、コスト低減効果などで打ち返す)
当期利益 136億円 前年同期比 158億円増加し、黒字化

■ 2011年度通期見通し

引き続き期初目標の営業利益500億円の達成を目指す

- 新販売台数計画(小売1,013千台、卸売1,080千台)： 足下の市場動向を反映し見直し
- 台数、為替等の前提条件を見直すも、引き続き期初公表の営業利益500億円を目指す

Concept **PX-MiEV II**



プラグインハイブリッド車 『MITSUBISHI Concept PX-MiEV II』

添付資料

MIRAGE



“世界戦略車”『MIRAGE (ミラージュ)』

台数カウント定義の変更について【お知らせ】

変更内容

■ 新カウント(2011年度から)

・小売台数：自社ブランド車のみを小売台数とする。

「ロシア・ウクライナ」を「ロシア他(ロシア・ウクライナ・カザフスタン)」へ変更。

・卸売台数：卸売台数にOEM供給台数を含める。

■ 旧カウント(2010年度以前)

・小売台数：当社が設計した商品で、ロイヤリティ収入がある場合は他社ブランドも小売台数に含める。

・卸売台数：OEM供給台数を除く。

**FY2010 3Q累計
(前年同期実績)**

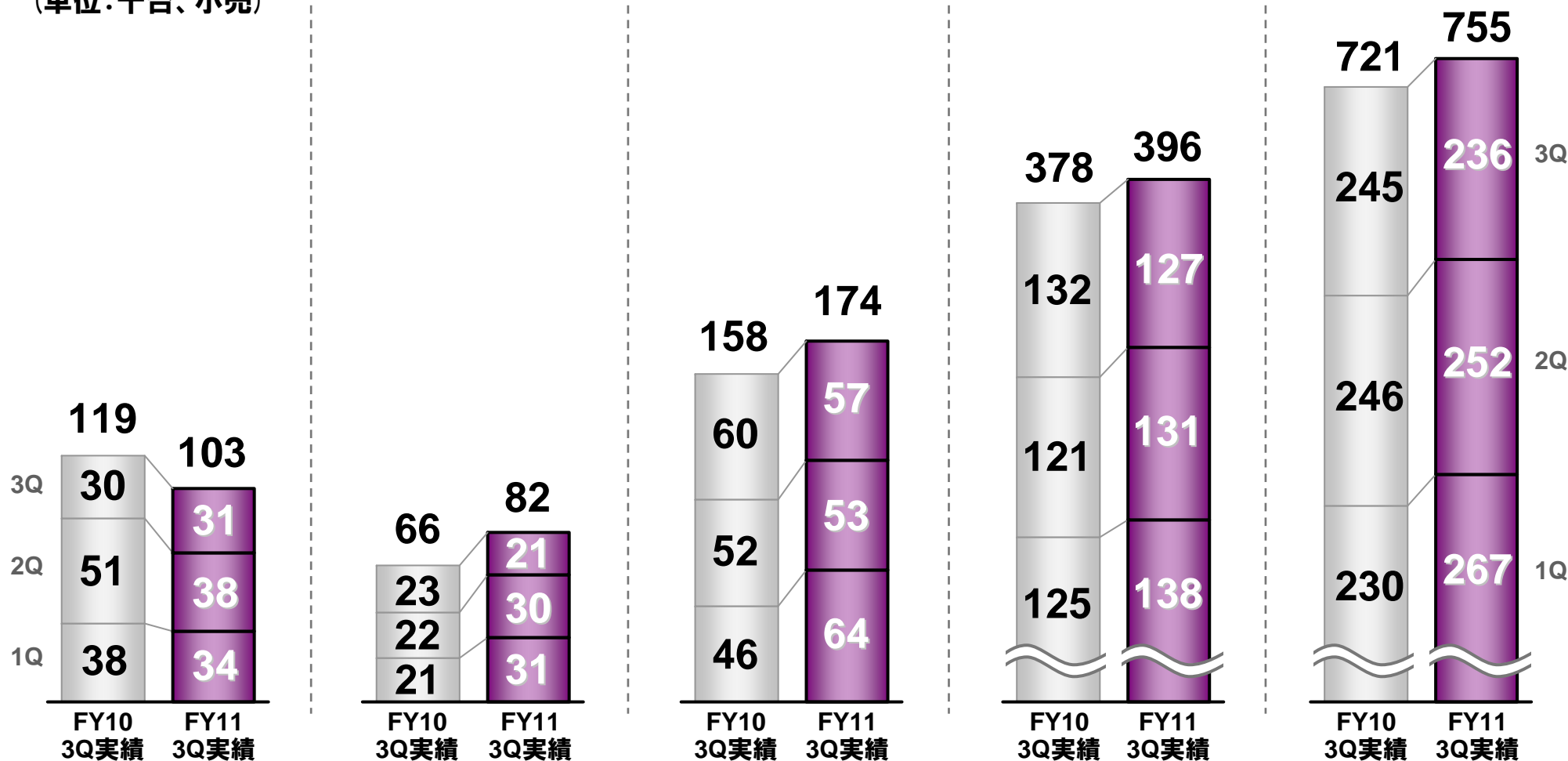
	<u>旧カウント</u>		<u>増減台数</u>		<u>新カウント</u>
小売台数	807千台	－	86千台	=	721千台
卸売台数	746千台	＋	38千台	=	784千台

2011年度第3四半期 地域別販売台数実績【四半期別、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年度実績対比増減》				
- 16 (- 13%)	+ 16 (+ 24%)	+ 16 (+ 10%)	+ 18 (+ 5%)	+ 34 (+ 5%)

(単位:千台、小売)



※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照) 11年度第3四半期販売台数実績は速報値。

2011年度第3四半期 地域別業績 【9ヶ月累計、前年同期対比】

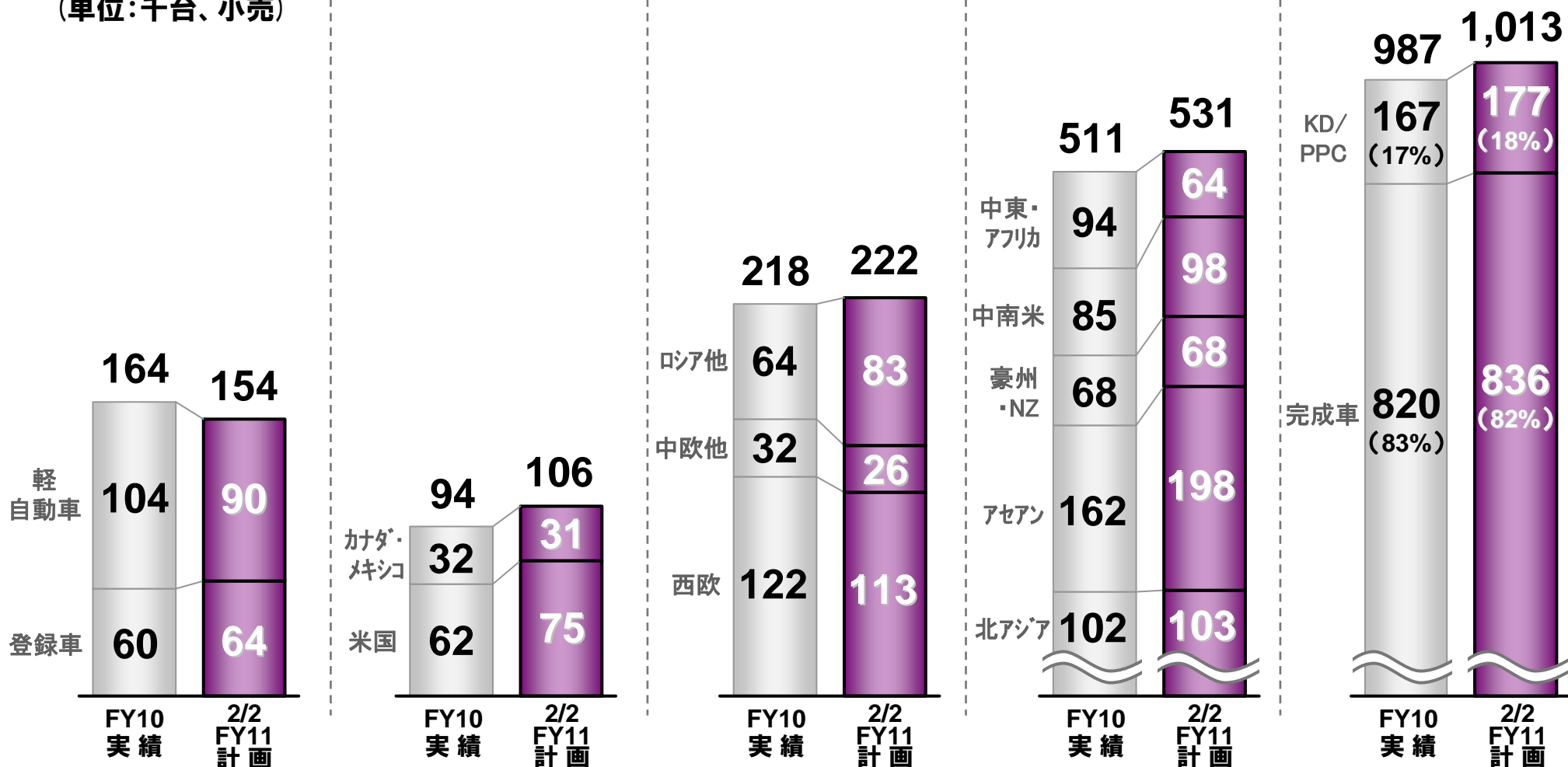
(単位: 億円)

	FY10 3Q ('10/4-12) 実績①	FY11 3Q ('11/4-12) 実績②	増減 ②-①
売上高	13,109	12,931	-178
- 日本	2,595	2,510	-85
- 北米	1,435	1,418	-17
- 欧州	3,468	3,465	-3
- アジア・ その他地域	5,611	5,538	-73
営業利益	130	385	+255
- 日本	17	-20	-37
- 北米	-223	-209	+14
- 欧州	-230	-114	+116
- アジア・ その他地域	566	728	+162

2011年度地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
- 10 (- 6%)	+ 12 (+ 13%)	+ 4 (+ 2%)	+ 20 (+ 4%)	+ 26 (+ 3%)

(単位:千台、小売)

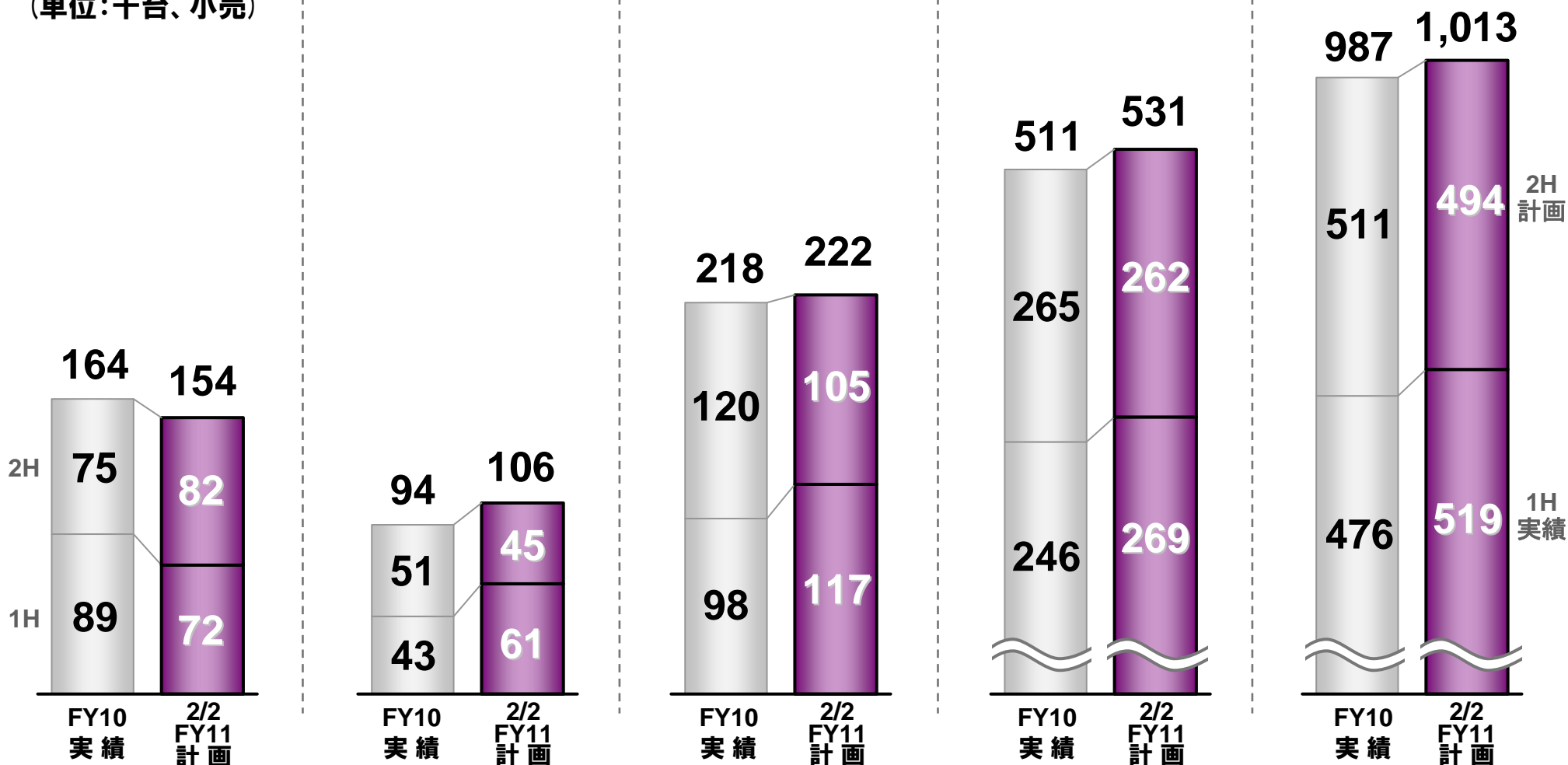


※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照)

2011年度地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
- 10 (- 6%)	+ 12 (+ 13%)	+ 4 (+ 2%)	+ 20 (+ 4%)	+ 26 (+ 3%)

(単位:千台、小売)



※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用、10年度実績も新カウントへ置き換え済み。(添付資料ご参照)

2011年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【10/28公表値対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《10/28公表値対比増減》

- 4
(- 3%)

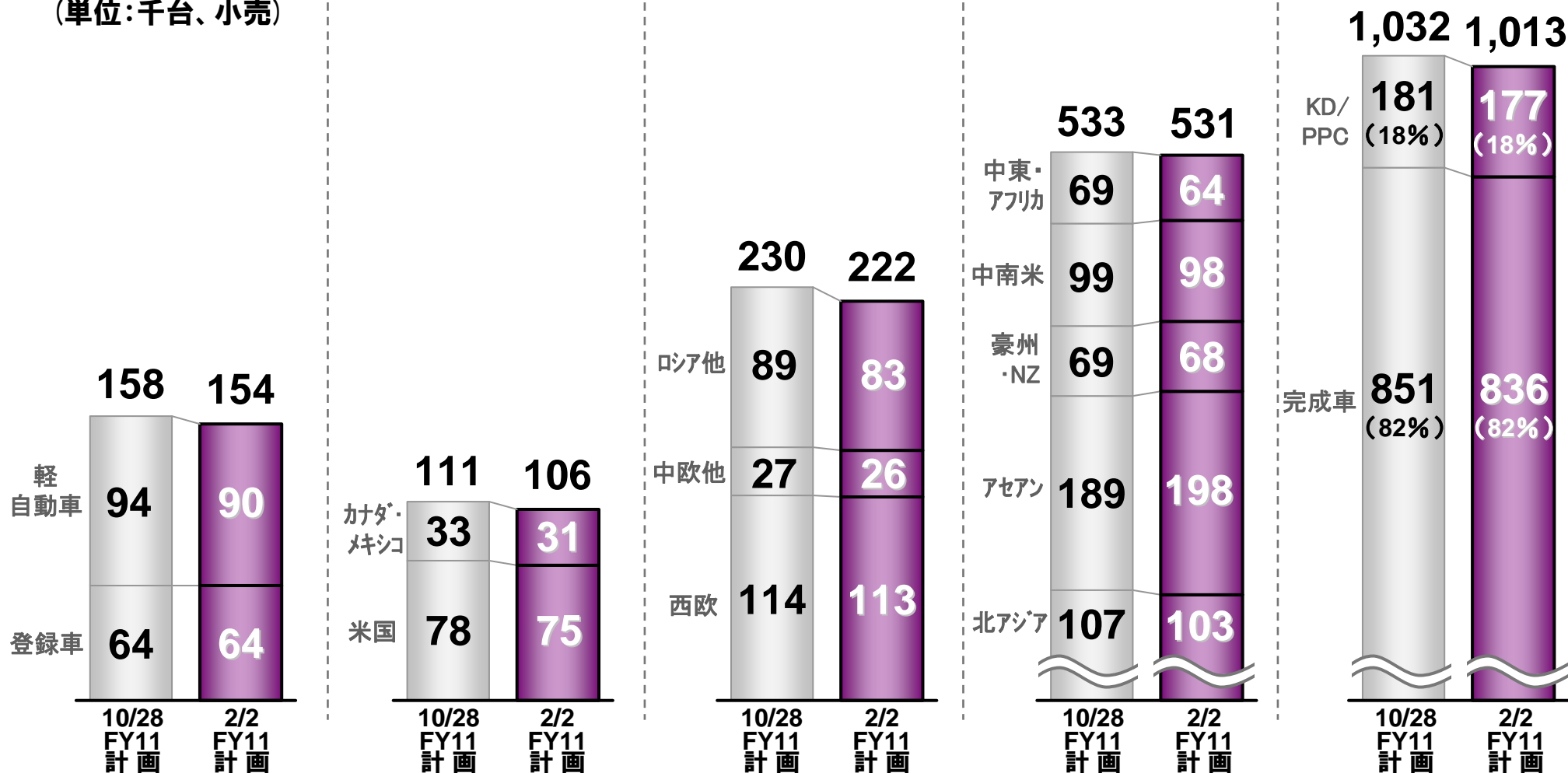
- 5
(- 4%)

- 8
(- 3%)

- 2
(-)

- 19
(- 2%)

(単位:千台、小売)



※注) 販売台数は11年度から新カウント方式採用。(添付資料ご参照)

2011年度通期見通し 地域別業績【前年度実績および公表値推移】

(単位：億円)

	FY10 実績	FY11 6/13公表値	FY11 10/28公表値	FY11 2/2公表値
売上高	18,285	19,500	18,200	18,200
－日本	3,633	3,700	3,700	3,700
－北米	1,898	1,900	1,800	1,800
－欧州	4,900	5,100	4,600	4,600
－アジア・その他地域	7,854	8,800	8,100	8,100
営業利益	403	500	500	500
－日本	51	70	90	50
－北米	- 279	- 330	- 310	- 290
－欧州	- 264	- 170	- 210	- 220
－アジア・その他地域	895	930	930	960

2011年度営業利益見通し増減分析 【前年度対比】

(単位: 億円)

FY10
実績



2/2
FY11
見通し

地域別

日本:	± 0
北米:	+ 20
欧州:	+130
アジア・その他:	+ 60



台数・車種
構成等

± 0

販売費



為替

売上レート (単位:円)

	FY10	FY11
米ドル	85	78
ユーロ	113	110
豪ドル	81	82



資材費等
コスト低減



その他

その他の主な内訳

・開発費	- 136
・間接員労務費他	- 87



新型MIVECエンジン及びアイドリングストップ機能を開発

新型MIVECエンジン

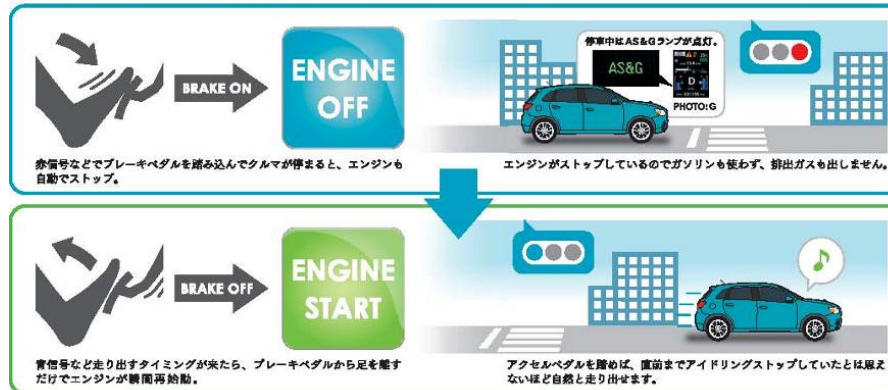


1.8/2.0L MIVEC^{*1}エンジン



アイドリングストップ機能

AS&G 作動イメージ 特別な操作は必要ありません。いままでのアイドリングストップ機能が付いていないクルマと同じ感覚で運転するだけで、ストレスなく、この新しい環境技術の力が発揮できます。



「オートストップ&ゴー(AS&G^{*2})」

各車で約12~14%の燃費向上を実現^{*3}



『ギャラン フォルティス』



『ギャラン フォルティス
スポーツバック』



『RVR』



『デリカ D:5』(2WD)

^{*1} MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system ^{*2} AS&G : Auto Stop & Go ^{*3} 10・15モード燃料消費率で比較

主なエコカー減税 & エコカー補助金対象車種

エコカー減税(自動車取得税+自動車重量税) 免税・75%・50%減税

クリーンエネルギー自動車等
導入促進対策費補助金

電気自動車

免税

i MIEV



MINICAB
MIEV



クリーンディーゼル乗用車

PAJERO



3.2ℓクリーンディーゼルエンジン

エコカー補助金 登録車:10万円 軽自動車:7万円

COLT



Cool Very (2WD)

COLT PLUS



Very (2WD)

DELICA
D:2



S (2WD)

75%
減税

RVR



G (2WD)

OUTLANDER



20M (2WD)

DELICA
D:5



CHAMONIX (4WD)

GALANT
FORTIS



SUPER EXCEED
(2WD)

GALANT
FORTIS
SPORTBACK



SPORT (2WD)

50%
減税

EK-WAGON



M (2WD/5MT)

※2012年2月2日現在。エコカー補助金対象予定およびエコカー減税について、詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。

世界戦略車『MIRAGE（ミラージュ）』の投入

■ 『MIRAGE（ミラージュ）』のコンセプト

- ・ 「小型」「低価格」「低燃費」の世界戦略車
- ・ 需要の伸長が見込まれる新興国、
ダウンサイジング化が進む先進国双方へ投入
- ・ 三菱モデルラインナップのエントリーモデル
大人5人の居住空間を確保したスモールカー
- ・ 新開発1.0ℓ & 1.2ℓ 3気筒エンジン +
可変バルブタイミング機構 (MIVEC※¹)
アイドルストップシステム (AS&G※²)
減速エネルギー回生システム
空気の抵抗低減と車体の軽量化

■ 生産工場

- ・ タイにMMTh社第3工場建設
- ・ 中国での現地生産を推進

■ 販売開始

- ・ まず、タイ市場に投入
- ・ その後、タイから世界各国へ輸出

MIRAGE



“世界戦略車”『MIRAGE（ミラージュ）』



※1 MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system

※2 AS&G : Auto Stop & Go

電気自動車の展開拡大

	2009年度 販売実績: 1.6千台	2010年度 販売実績: 8.2千台	2011年度 販売計画: 19千台(国内7千台、海外12千台)
日本	<p>・フリート販売 09年7月～</p> <p>『i-MiEV』</p>  <p>販売実績: 1.4千台</p>	<p>・一般販売 10年4月～</p> <p>販売実績: 2.6千台</p>	<p>・「M」「G」の2グレード展開 11年7月～</p>  <p>軽商用電気自動車 『MINICAB-MiEV』 11年12月～</p> <p>軽商用EV</p>
	<p>09年秋～</p>  <p>欧州向け『i-MiEV』</p> <p>販売実績: 0.2千台</p>	<p>右ハンドル車(香港、イギリス他)</p> <p>10年10月～</p> <p>販売実績: 5.6千台</p>	<p>欧州(左ハンドル市場含む)</p> <p>PSAプジョー・シトロエン社向け</p>  <p>北米向け『i-MiEV』 11年11月～</p> <p>北米</p>

国内向2012年型「i-MiEV」を大幅に改良

i MiEV



機能・装備の充実した上級グレード「G」

- ・一充電走行距離 : 180km(JC08モード)
- ・電池容量 : 16.0kWh
- ・モーター最大出力 : 47kW [64PS]
- ・充電時間 普通充電 : 7時間(満充電)
- 急速充電 : 30分(80%充電)
- ・価格 : 3,800,000円
- 補助金※1 : 960,000円

- 三菱マルチエンターテインメントシステム(カーナビゲーション)
- キーレスオペレーションシステム ■シートヒーター(運転席/助手席)
- 本革巻きステアリングホイール&シフトノブ

実質188万円のエントリーグレード「M」

- ・一充電走行距離 : 120km(JC08モード)
- ・電池容量 : 10.5kWh
- ・モーター最大出力 : 30kW [41PS]
- ・充電時間 普通充電 : 4.5時間(満充電)
- 急速充電 : 15分(80%充電)※2
- ・価格 : 2,600,000円
- 補助金※1 : 720,000円



軽商用電気自動車「MINICAB-MiEV」投入



はたらくクルマも電気自動車へ
ミニキャブ・ミーブは、
電池容量の異なる
2つのタイプをご用意しています。



実質202万円のCD 16.0kWh仕様

- ・一充電走行距離 : 150km(JC08モード)
- ・電池容量 : 16.0kWh
- ・モーター最大出力 : 30kW [41PS]
- ・充電時間 普通充電 : 7時間(満充電)
急速充電 : 35分(80%充電)^{※2}
- ・価格 : 2,950,000円^{※3}
補助金^{※1} : 930,000円

実質173万円のCD 10.5kWh仕様

- ・一充電走行距離 : 100km(JC08モード)
- ・電池容量 : 10.5kWh
- ・モーター最大出力 : 30kW [41PS]
- ・充電時間 普通充電 : 4.5時間(満充電)
急速充電 : 15分(80%充電)^{※2}
- ・価格 : 2,400,000円^{※3}
補助金^{※1} : 670,000円

電源供給

- ACパワーサプライEZをディーラーオプションで販売中。
- 1500W電源供給装置は今年度中に商品化予定。

ACパワーサプライEZ
(定格100Wまで)
販売中



携帯電話



ノートパソコン



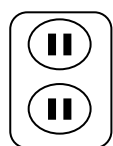
扇風機



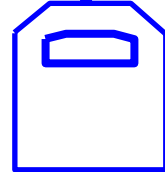
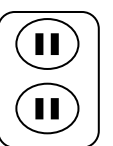
LEDランプ



電気シェーバー



ACパワーサプライEZ



大容量電源供給装置
(開発中)



電気ポット



炊飯器



洗濯機

家庭用
掃除機



大型ドライヤー



大型液晶テレビ

補機用
バッテリー

駆動用
バッテリー



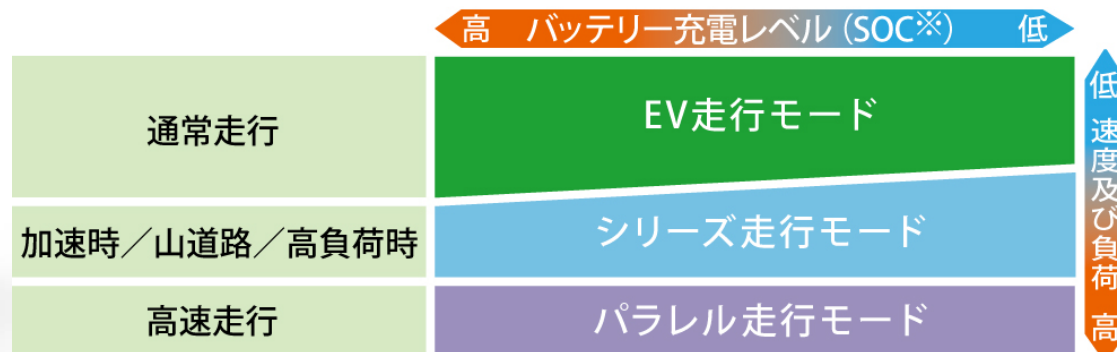
環境対応SUV『MITSUBISHI Concept PX-MiEV II』

Concept PX-MiEV II



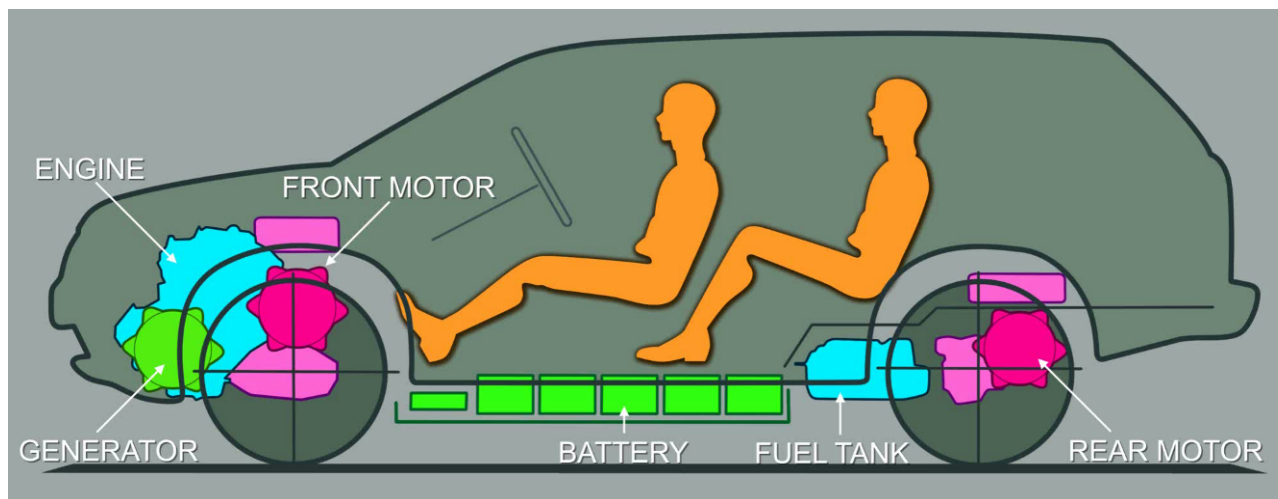
2011年東京モーターショー出品PHEV
『MITSUBISHI Concept PX-MiEV II』

三菱プラグインハイブリッドEVシステム



※State of Charge

- ・目標EV走行距離 : 50km 以上
- ・目標航続可能距離 : 800km 以上
- ・目標複合燃料消費率 : 60km/L 以上



システム構成

1. EVコンポーネント
 - ・駆動用バッテリー
 - ・前後のモーター
 - ・前後のインバーター
2. エンジン・燃料タンク
3. ジェネレーター

Concept **PX-MiEV II**



プラグインハイブリッド車 『MITSUBISHI Concept PX-MiEV II』

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS